

## 令和3年度データサイエンス・ベーシックプログラム

## 自己点検・評価報告書

## 1. 教育プログラムの履修・修得状況、学習成果について

## &lt;点検・評価結果&gt;

データサイエンス総論 I,II を履修登録した1年生の割合は、令和2年度がそれぞれ約33.2%、約12.2%であったのに対し、資料1のとおり、令和3年度はそれぞれ70.4%、37.4%となり、履修登録者数の大幅な増加が見受けられた。令和4年度は8学部でデータサイエンス総論Iが必修科目となるため、さらなる履修登録数の増加が期待される。さらに、本プログラムの修了者数は令和2年度は341人だったのに対し、令和3年度は1,357人だったため、本プログラムが順調に運営されていることが確認できた。ただし、データサイエンス総論IIの履修登録者数がデータサイエンス総論Iより低いため、次年度に向けた履修登録者数を増やすための取組が必要である。

一方、令和3年度のデータサイエンス総論 I,II の全学年の履修登録者数に対する単位修得者数の割合はそれぞれ約96.0%、約93.1%であり、両科目とも高い単位修得率となっている。しかしながら、単位を修得できなかった学生の多くは、途中から授業に参加しなくなった学生であるため、次年度に向けてこのような学生への対応が必要となる

## &lt;改善への取組&gt;

データサイエンス総論 I,II の履修登録者数の割合を増やすために、次の取組を行う。

- 令和3年度までに、理、工、農、歯学部、経済科学部でデータサイエンス総論Iを必修であったが、令和4年度からは医学部、法学部、教育学部で必修となり、人文学部で選択必修科目になるため、データサイエンス総論Iの履修登録者数が増加することが予想される。
- データサイエンス総論IIについては、新入生ガイダンスやデータサイエンス総論Iにおいて、当該科目で学習する知識がこれからの社会で必要であることを学生に周知することで、履修登録者数の増加を図る。

データサイエンス総論 I,II の単位修得率を高めるためには、途中で授業への参加をやめる学生を減らす工夫が必要である。このため、新入生ガイダンスや当該科目の初回授業において、この科目で修得できる知識がこれからの社会で必要とされていることを学生に周知し、学生の勉学意欲向上に努める。

## 2. 学生アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度について

## &lt;点検・評価結果&gt;

令和3年度のデータサイエンス総論I,IIにおいて、資料1のとおり、履修登録学生に対する単位修得者の割合はそれぞれ約96.0%、約93.1%となり、ほとんどの履修登録者が

単位を修得することができた。また、令和3年度に履修登録者へ実施した授業評価アンケート結果（資料2，3）の「設問9：この授業を受講して、あなたの行動や態度は変化したと思いますか。あてはまると思うものをすべて選択し、具体的に書いてください」に対し、データサイエンス総論I,IIの両科目の回答者の約9割が「新しい知識・技能や考え方が身についた」と回答している。さらに、同アンケートの「設問13：あなたは、シラバスに記載された授業の到達目標を達成することができた（達成することができる）と思いますか」については両科目の9.5割以上の履修登録者が「そう思う」または「ややそう思う」と回答しており、「設問14：あなたはこの授業を履修して総合的に満足していますか」についても9.7割以上の履修登録者が「満足している」または「ある程度満足している」と回答している。

以上より、データサイエンス総論I,IIの両科目において、多くの履修登録者が授業内容の知識を修得し、さらに履修登録者の多くが授業内容に満足していることが認められた。

#### <改善への取組>

令和3年度において、データサイエンス総論I,IIの両科目とも履修登録者の単位修得率は高く、授業内容に対する履修登録者の満足度も高いため、令和4年度も同様の評価が得られるように授業を実施することを期待する。ただし、現代社会においてデータサイエンスが活用される機会が拡大しているため、データサイエンスの最新活用事例の紹介を取り入れるなどの授業内容の工夫が必要である。

### 3. 全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

#### <点検・評価結果>

上記「1」に記載したとおり、令和3年度の本プログラム修了者数は令和2年度に比べて大幅に増加した。また、本プログラム構成科目において履修登録者に対する単位修得者の割合は非常に高いため、令和4年度もこのような水準を維持する取り組みが必要である。

#### <改善への取組>

上記「1」に記載したとおり、データサイエンス総論Iについては令和4年度には本学10学部中8学部が必修とし、1学部は選択必修とするため、令和4年度以降において1年生の9割以上がこの科目を履修登録することが予想される。また、データサイエンス総論IIについては、新入生ガイダンスやデータサイエンス総論Iにおいてこの科目で学ぶ知識が今後の社会で必要とされていることを学生に周知し、履修登録者の増加を図る。これらの取り組みにより、令和4年度以降の入学者の5割以上が本プログラムを修了することが予想される。

令和4年5月20日

新潟大学における情報活用及び数理・データサイエンス教育  
に関する検討ワーキング・グループ